

一般会計予算は144億7000万円

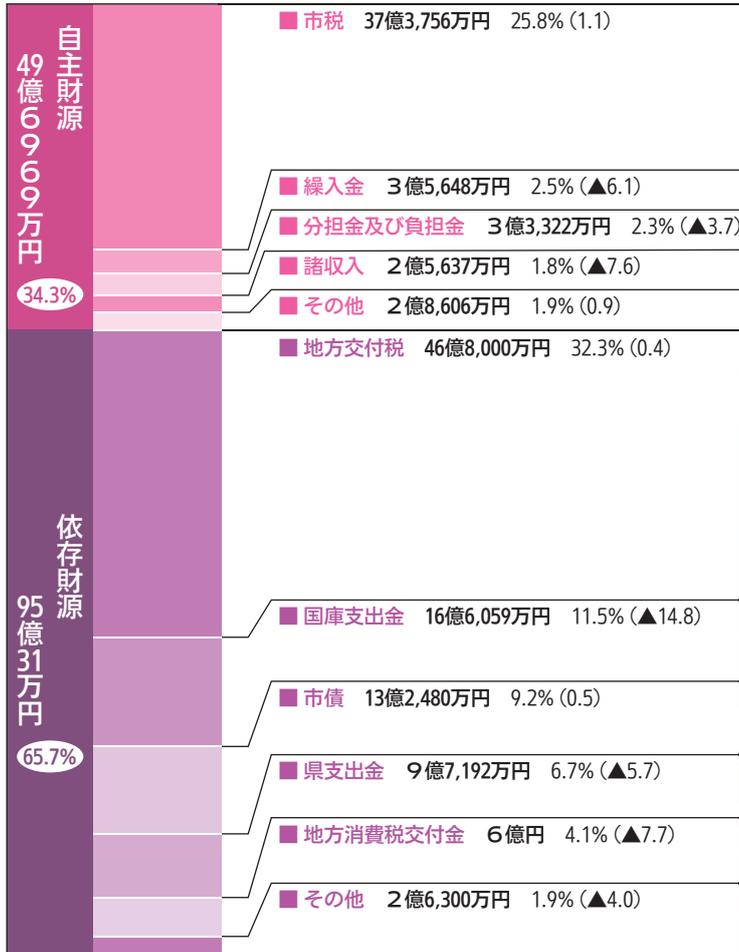
市長マニフェストなどの

達成に向け 予算編成



歳入

《歳入内訳》



※1万円以下は四捨五入。()内は前年度比の増減率です。

平成29年度の一般会計当初予算は、144億7000万円(前年度比2・7%減)で、特別会計と合わせた総額は277億3870万円(同1・2%減)となりました。

一般会計

一般会計は、市税をはじめ、国・県の補助金や交付金などを財源に、保健や福祉、教育土木、環境対策などの基本的な施策を行う会計です。

平成29年度の当初予算では「新生匠磋の実現に向け」「市長マニフェスト」や「匠磋市総合戦略」などに掲げる施策を推進し、優先的に取り組むべき事業へ財源を重点的に配分しました。

■歳入

国庫支出金・県支出金が減少

歳入では、普通建設事業費や扶助費などの減少に伴って、国庫支出金や県支出金が減少しました。

また、地方交付税は前年度当初予算額に比べて2000万円の増加ですが、合併算定替の段階的縮減などに伴い、28年度決算見込額と比べると1億7500万円程度減少す

る見込みです。

■歳出

ハード事業の終了に伴い、普通建設事業費が減少

歳出では、吉田小学校屋内運動場改築事業の終了や、認定こども園建設を含む保育所施設整備事業などの普通建設事業費の減少に伴って、予算規模は前年度当初予算額と比べて減少しました。

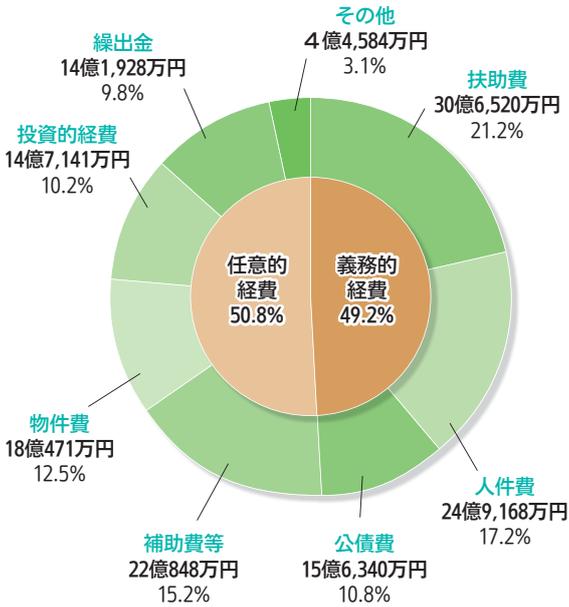
しかし、市債の返済に係る公債費や公共施設の維持補修費に加え、広域ごみ処理施設整備に係る補助費等の増加が見込まれるため、市の貯金に当たる基金を3億4000万円取り崩して予算を編成しました。

◆市長マニフェスト関連事業

市長マニフェスト関連事業では、市民協働のまちづくりを推進するため、市民提案型事業に対する助成や、栄地区に本市3基目となる津波避難タワーの設置に取り組みます。また、子どもから高齢者まで気軽に楽しめるスポーツ活

歳出

《歳出内訳・性質別》



新規・拡大事業、市長マニフェスト、 匠瑛市総合戦略関連事業

一般会計の主要事業のうち、新規・拡大事業、市長マニフェスト・匠瑛市総合戦略関連事業を紹介します。

※**新**新規事業、**拡**拡大事業

◆産業・経済分野

新 空き店舗活用支援事業…140万円

◆生活環境・都市建設分野

拡 地域交通利用料助成事業…610万円

◆教育・交流分野

新 ドーム改修事業…7,371万円

新 生涯学習センター改修事業…2,162万円

新 校務支援システム導入事業…2,099万円

新 学校施設長寿命化計画策定事業…1,002万円

新 小学校トイレ大規模改造事業…682万円

拡 施設維持管理費(図書館)…2億2,617万円

◆住民協働・行財政分野

拡 出会い創出事業…132万円

市長マニフェスト関連事業

新 パークゴルフ場整備事業…1,100万円

拡 がん検診事業…6,327万円

拡 市民協働推進事業…193万円

市道11137号線(野手)道路改良事業…1億4,000万円

津波避難タワー設置事業…7,870万円

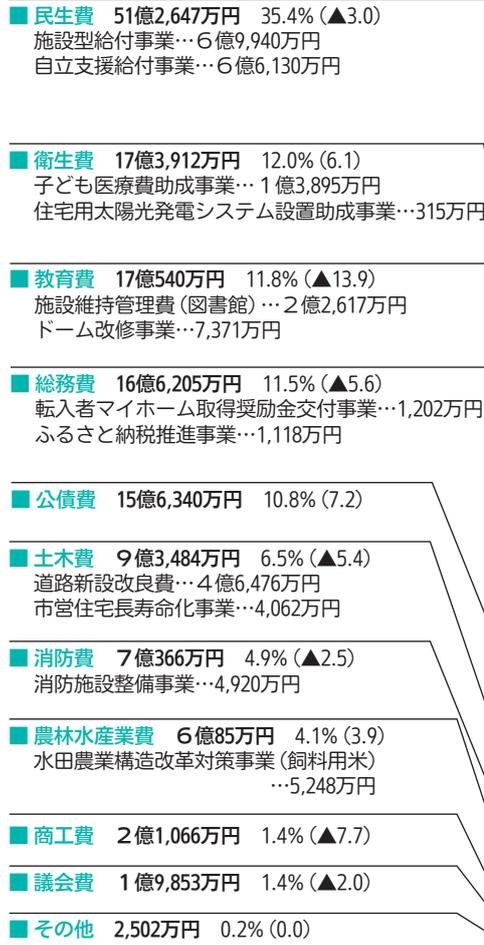
匠瑛市総合戦略関連事業

新 企業誘致促進事業…100万円

拡 制度資金利子補給事業…1,470万円

拡 商工業活性化支援事業…1,367万円

《歳出内訳・目的別》



※1万円以下は四捨五入。()内は前年度比の増減率%です。

動を推進するため、吉崎浜野外活動施設を改修してパークゴルフ場の整備を進めます。

◆匠瑛市総合戦略関連事業

匠瑛市総合戦略関連事業では、若者の雇用を創出するため、条件を満たす事業者が匠瑛市民を新規に雇用した場合に補助金を交付する、企業誘致促進事業を新たに実施します。

また、起業支援の取り組みとして、商工会が実施する創業支援事業に対する補助金や、希望者が低利に資金を確保できるように創業資金利子補給金を制度化します。これにより創業に向けて、一貫した起業支援に取り組みます。

特別会計

特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行うため、一般会計と区別して経理する会計です。本市では4会計を設け、合わせて約133億円を見込んでいます(左表)。

会計名	29年度予算	前年度比
国民健康保険特別会計	64億7,098万円	0.0%
後期高齢者医療特別会計	4億3,041万円	5.3%
介護保険特別会計	32億9,783万円	3.0%
病院事業会計		
収益的支出	28億9,200万円	▲0.6%
資本的支出	1億7,748万円	▲20.2%
計	132億6,870万円	0.4%

※2、3ページに関する問い合わせは財政課財政班 ☎73-0085へ